

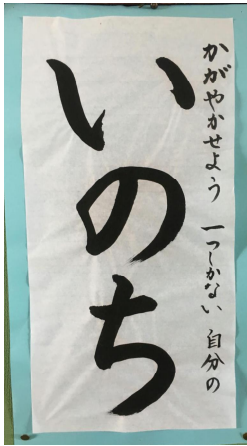
# たくましく心温かな中洲の子

- ◆ 平成31年4月12日(金)
- ◆ 諏訪市立中洲小学校

## 「ねぇ校長先生、ほくもう宝物見つけちゃったよ！」



始業式で、『スタートを大切に 自分の宝物をたくさん見つけよう！』という話をした4月4日の下校時、児童玄関でこう話しかけてくる2年生の男の子がいました。子ども達と出会った直後だったのでこう言われてとても嬉しかったです。さて、何が宝物だと私に伝えてくれたと思いますか？



午後行われた入学式では、1年生にこんな話をしました。『皆さんにとって一番大切なものは"命"です。中洲小では、この命ということをとて大事に勉強しています。命を大事にするということは、自分を大事にするということです。"車に気をつける" "体を丈夫に鍛える"、ということはもちろん、心も鍛えてたくましくなり、自分の力をいっぱい使っているような勉強をたくさんしてください。』…子ども達は、ご家族にとっても中洲にとっても大切な宝物です。この世にたった一つの命を大切にできる子どもであってほしいです。…入学式では、更にこう続けました。



4月10日  
桜に雪

『自分を大切にすることは、友達を大切にすることです。心の温かい、思いやりあふれる中洲の子になってほしいです。そして、みんなで力を合わせて、笑顔いっぱいの楽しい毎日をつくっていきましょう。』…下校時に私に宝物を見つけたと言った2年生の男の子は、もちろん入学式には出ていませんが、私に「命が宝物だ。」と伝えてくれたんです。子ども達が、朝登校した時よりもっといい笑顔で、たくさんの宝物を抱えて帰宅できるようなワクワクするような毎日を、子ども達とともにつくっていきたいです。私もたくさんの中洲小の宝物を見つけ、子ども達や保護者の皆様にお伝えしていけたらと思っております。

## 学校運営協議会 安全教育部会の皆様 ありがとうございます！

1年生は、徒歩での登下校に慣れてきたでしょうか。毎朝1年生の玄関で様子を見ていますが、日に日に元気に教室に向かって行く姿が見られてとても嬉しく思います。

1年防犯教室での  
安全教育部の皆さんの熱演



安全教育部会の皆様が、5日に会合をもち、キョロブラ活動につ



下校見守り

いてや1年生防犯教室・交通安全教室・避難訓練など、命に直接かかわる大事な行事の打ち合わせを行なってくださいました。入学式翌日から毎日1年生の下校に付き添っていただき、子ども達が安心して帰れるよう一人ひとりの名前を呼びながら確実に送ってくださる姿に感謝の気持ちでいっぱいです。

10日(水)には、1年生の防犯教室が行なわれ、交通安全のことはもちろん、不審者への対応やお店に行った時のルールなどを、紙芝居や劇で分かりやすく教えてくださいました。地域の方にこんなふうに大切に見守られている中洲の子ども達は幸せですね。おうちの皆様も、ぜひ朝子ども達に「気をつけてね。」と声をかけて送り出してあげてください。年度当初にあたり、職員も登校時交通安全指導を行ないました。暖かくなり外で遊ぶ機会も多くなります。登下校ばかりでなく、帰宅してからの交通安全にも十分気をつけられるようご指導ください。

少年警察ボランティア協会さん  
による力作の紙芝居



「おかあさんのそら」(1年生)

おかあさんの ころのなかには おそらがあります  
 おかあさんがわらっているときは  
 おそらにたいようがのぼります  
 おかあさんがないときは そらにあめがふります  
 おかあさんがつかれたときは  
 そらにくろいくもがひろがります  
 おかあさんがおこっているときには かみなりがおちます  
 わたしはおかあさんににじをかけて  
 えがおにしてあげたいです



「お母さん」(3年生)

\* 私は気づいているよ  
 \* 私のね顔を見て  
 \* 私にほほえんで  
 \* さあがんばらなくちゃと  
 \* 夜おそくまで  
 \* せんたくものをたたんでいたね  
 \* 目をあけて  
 \* ありがとうって  
 \* ほんとうはいいたいな

(詩集「おかあさん」より)

☆ ★ ☆ ★ お父さん、お母さん、その時にしかできない子育てを楽しんでくださいね ★ ☆ ★ ☆

校長1年生は毎日ドキドキです。周りの先生方や素直でかわいい中洲の子ども達に支えていただきながら何とかやっています。保護者の皆様には、日頃より様々な面でのご理解ご協力をいただき、まとまりのよい中洲小学校をつくってくださっていることに、心より感謝申し上げます。また、唐澤PTA会長様はじめ役員の皆様にも、大変お世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

さて、私には大学生と中学3年の息子がいます。上の子の時は育休が1年だけでしたが、下の子の時には制度が替わり育休が延長になったため、3年近く休みを取らせていただきました。下の子の世話を自分で出来ることはもちろんありがたかったのですが、育休最後の年に、1年生になった上の子を「お帰り」と言って迎えてやれ、一緒に宿題をやったり遊んだりできたことが1番嬉しかったです。家にいれば家族のためにいろんなことが出来るので、ある日1年生の兄に「このまま先生をやめてお母さんが家にいた方がいいでしょう。」と聞いたことがあります。息子から返ってきた答えは、「お母さんは仕事をしての方がいいと思うよ。」でした。復帰するかどうするか迷っていた私は、息子のこの一言で翌年からまた学校に戻りました。以来、父親も教師をしているので運動会や音楽会、参観日などにも行けないことの方が多かったのですが、子ども達は半分はあきらつつ理解してくれていました。あの時仕事に復帰しなければ、今こうして中洲小学校にお世話になることもありませんでした。子どもはどんどん大きくなってしまいます。あの時こうすればよかった、なんであんなことで怒ってしまったんだろう…etc. 親はあれこれ思いながら子育てをしています。お父さんお母さんが自分のために一生懸命頑張っていることはこちらが思う以上に子どもはよく分かっていてくれます。大切なのは、時間の長短ではありません。どうか、1年生なら1年生、2年生なら2年生…その時にしかできない子育てを楽しんで、お子さんとの時間を大切にしてください。そして、新しい1年のスタートで「今年はこんな自分になりたい！」と張り切っているお子さんの話を聞き、たくさん褒めてあげてくださいね。

【お願い】

児童玄関前は、14:00~16:00の間進入禁止とします。児童の下校と重なる時間帯ですので、お車の乗り入れを禁止とさせていただきます。ご協力よろしくお願い致します。